

平成27年度第1回政策会議

日時 平成27年4月15日（水）10:00～10:30
会場 市長会議室
参集者 工藤市長 中林副市長 片岡副市長 秋田企業局長
谷口企画部長 川越総務部長 山田財務部長
川村財務部次長 福田財政課長

1 「はこだておもしろ館」「子育て世代活動支援プラザ」の入館料金設定について

◎対応 入江経済部長 平井経済部参事 岡崎子ども未来部長
万丈子ども未来部次長 阿部経済部参事 宿村子ども企画課長
小林次世代育成課長 兵吾中心市街地再生担当主査
堀田子ども企画課主査

◆ 議題の趣旨 ◆

「はこだておもしろ館」および「子育て世代活動支援プラザ」の入館料金の設定について協議しました。

◆ 協議の結果 ◆

一部修正の上、本件の内容は了承されました。

◆ おもな発言 ◆

□平井経済部参事

「はこだておもしろ館」、「子育て活動支援プラザ」両館の入館料金の設定について、考え方としては、年間の運営費のおよそ半分程度をまかなえる額ということ念頭に、入場者数の見込み、函館市の社会教育施設等の料金、他都市の状況も参考にしながら案をつくった。

まず、「はこだておもしろ館」の入館料の算定の考え方は、管理委託料など施設の運営経費の総額を、想定した入場者数で割った原価の約半分ということで、今回は600円で提案した。これが大人の料金で、子供の料金はその半額の300円、そのほかに団体券（大人480円、小人240円）、年間券（大人6,000円、小人3,000円）、半年券（大人3,000円、小人1,500円）、3か月券（大人1,800円、小人900円）、4階にできる「子育て世代活動支援プラザ」との両館共通券（大人600円、小人500円）を設定している。

「子育て世代活動支援プラザ」についても、同様に運営経費と入館者数を想定し、現在運営している「大門キッズスタジアム」については、これまで大人の料金をとっていなかったが、新たにできる施設については大人からも入館料をもらうという考え方で、子供については300円、大人は100円とし、親子一組400円という考え方で設定している。こちらと同じように年間券（大人1,000円、小人3,000円）、半年券（大人500円、小人1,500円）、3か月券（大人300円、小人900円）を設定している。さらに今まで「大門キッズスタジアム」には無かった託児機能を有しており、他都市の例を参考にその料金を1時間600円と設定した。

■谷口企画部長

それぞれ年間券が設定されているが、2館共通の年間券はニーズはあまりないと考えているのか。

■阿部経済部参事

それぞれ主な利用者の年齢層が分かれていて、小学生でも高学年は「はこだておもしろ館」に行き、低学年は親と一緒に「子育て世代活動支援プラザ」に行くというパターンが多いと想定したので、2館共通の年間券は設定していない。

■工藤市長

このような入場券の区分であれば、金額が大きい年間券でなく、半年券や3か月券の方が売れるのではないかと。

■中林副市長

半年券の料金が年間券の料金を半分にしているだけならば年間券は必要ない。

□平井経済部参事

半年券だけでいいだろうという考え方はある。

■工藤市長

年間券は必要ない。半年券と3か月券でいい。

2館の所管は子ども未来部ということだが「大門キッズスタジアム」も大門活性化のために経済部の所管である。これらの所管も経済部になると考える。

■中林副市長

2館は大門、中心市街地への人集めの政策である。

■工藤市長

子育て支援なのか、中心市街地活性化なのか視点の問題である。もともとの発想は大門活性化、中心市街地の活性化である。

■谷口企画部長

それでは、入館料はそれぞれ設定額のとおり。年間券はなし。2館ともに所管は経済部ということよろしいか。

■工藤市長

了承した。ただし子育て支援に関わる部分については子ども未来部が協力すること。